

いさつ



岩倉市長
久保田 桂朗

支え合い、発展する岩倉市

令和7年の幕開けに寄せて

明けましておめでとうございます。市民の

皆様におかれましては、令和7年の新春を健やかに迎えのことと心からお慶び申し上げます。また、日ごろから、市政の運営に格別のご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

昨年は、甚大な被害をもたらした「令和6年能登半島地震」が元日に発生し、悲しいニュースからのスタートとなりました。被災をされた方々にお見舞い申し上げますとともに、被災地の一日も早い復旧・復興をお祈りいたします。

本市においては、「岩倉桜まつり」や、「健康都市宣言のまち第54回岩倉市民体育祭」を5年振りに開催することができました。どちらも沢山の笑顔が溢れるイベントとなり、大変感慨深いものがありました。また、本市の発展に繋がる新たな一歩として、名神高速道路の尾張一宮パーキングエリアへのスマートインターチェンジの設置に向けて国が調査を実施する「準備

段階調査」に着手していただけることになりました。スマートインターチェンジの整備は、市民や企業の交通利便性が向上するのみでなく、医療活動支援や防災機能の向上にも大きく寄与するものと考えています。今後も引き続き、一宮市をはじめ関係機関と連携を図りながら事業を進めてまいります。

私たちが抱える課題は、少子高齢化など人口構造の変化や社会保障、地球温暖化、物価の高騰など、多岐にわたります。特に少子高齢化の問題は全国的な課題であり、自治体における施策が今後ますます重要となっています。

本市では、市民の皆様が健康で安心して暮らせる環境を整備するとともに、子育て支援や教育環境の充実を図り、若い世代が子育てする喜びを感じ、心豊かに生活できるよう努めているところです。今後昨年2月に発表した「こどもまんなか応援サポーター宣言」をもとに、未来を担うこどもたちが健やかに成長し、夢を持てる社会をつくることを目指してまいります。

また、地球温暖化対策については、世界中で気候変動への対策が講じられているところですが、岩倉市においても重要なテーマと位置づけ、2050年までに二酸化炭素の排出量実質ゼロをめざす「ゼロカーボンシティ」

の実現に向けた取組を強化していきます。市民や事業者の皆様とともにエネルギーの効率化、再生可能エネルギーの導入など、環境にやさしい政策を推進することで、次世代に希望をもたらすまちづくりを進めてまいります。

本市は人口規模が比較的小さく、人と人の距離感が近いため、密接なコミュニケーションを取ることができます。これこそが課題解決に向けた強みであり、他の地域にはない特別な力です。地域が一体となり、顔の見える関係を築くことができるのは、まさにコンパクトシティゆえのメリットです。この絆が強

いほど、課題に直面した際の対応力は増し、解決に向けた道が見えてきます。まちづくりには、支え合い、助け合う心が大切です。日々の生活の中で人々が互いに手を差し伸べ、共に助け合うことで、より強いコミュニティが形成されます。市民や市民団体、事業者そして行政など、まちづくりを担う人々が協力し、絆を深めながら地域の発展につなげていきたいと考えていますので、ぜひ皆様のご協力をお願いいたします。

結びに、本年が皆様にとって素晴らしい1年となりますよう、心からお祈り申し上げます。新年のごあいさつといたします。

新春あ



市長 岩倉 郁文
市議員 岩倉 関

あけましておめでとうございます。
市民の皆様には、新しい年を健やかに迎え
ること、心からお慶び申し上げます。

また、日ごろより市議会に対する温かいご支
援、ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。
令和7年の輝かしい新春を迎えるにあたり、
市議会を代表して新年のごあいさつを申し上
げます。

昨年を振り返りますと、7月から9月につ
けてパリオリンピック・パラリンピック競技大
会が開催され、アスリートたちの圧倒的なパ
フォーマンスが私たちの心を揺さぶり、世界
が興奮の熱気に包まれました。こうした中、多
くの日本人アスリートの活躍が私たちに勇気
や感動を与えてくれました。次回の大会でも多
くのアスリートたちの活躍に期待するところ
であります。

また、10月には平和活動を行う日本原水爆被
害者団体協議会にノーベル平和賞が授与され
ました。日本のノーベル平和賞受賞は、50年ぶ
り、2度目の受賞ということで、改めて平和の

大切さを実感しております。現在も世界各地で
は紛争が続いていますが、誰もが平和で公正に
暮らせる国際社会を実現するために努力して
いくことが大切であります。

一方、能登半島では、元日には大地震、9月
には豪雨が発生し、度重なる災害によって多く
の方々が被災されました。被災された方々にお
見舞いを申しあげますとともに、一日も早い復
興を願うものであります。全国各地では地震の
発生や豪雨などによる被害も見られる中で、改
めて災害に対する意識を高めていかなければ
なりません。市議会としても想定外の災害等も
視野に入れ、安全で市民の皆様が安心できるま
ちづくりの推進に向け、より一層努めてまいり
ます。

また、社会情勢を見ますと、物価高騰が続き、
市民生活にさらなる影響を及ぼすなど、多くの
課題が山積しています。今後の社会情勢などの
見通しを考えましても、市政に対する要請もま
すます複雑かつ多様化していくことが考えら
れます。こうした状況に対し、議会の役割を果
たしつつ、真に必要な施策の実施に向けて全力
で取り組んでまいります。

市においては「ゼロカーボンシティ」の実現
に向けて、市民や事業者をはじめとしたさまざ
まな主体のマルチパートナーシップのもと取
り組んでいますが、今後、市議会としてもペー
パーレス会議の実施など、議会のICT化の推
進に取り組んでまいります。

平成23年に制定しました「岩倉市議会基本条
例」の理念に基づき、議会改革に引き続き取り
組んでおりますが、市議会の役割・機能が高め
られるよう、さらなる改革に努め、執行機関と
真摯に議論を重ね、新たな時代の住民福祉の増
進につながるよう「誰もが安心して暮らせるま
ちづくり」を目指して、全議員が一丸となって、
より一層努力してまいります。

結びに、本年の干支は、「巳年（へび年）」で
ありますが、蛇は古代から再生や永遠の象徴と
され、皮を脱ぎ捨て新たな姿に生まれ変わる姿
がその象徴となっています。こうした意味か
ら、巳年は新しい挑戦や変化に対して前向きな
姿勢を示す年とも解釈されています。

私たち誰もが、刻々と変化する社会情勢の中
で新たなことや前向きに進む一年となるよう
願い、新しい年が市民の皆様方にとりまして、
元気で幸せな年となりますよう心からご祈念
申し上げます、新年のごあいさつといたします。

“誰もが安心して暮らせる

まちづくり”をめざして